

アジアの夏のお祭りを味わえるナイトマーケット

私が毎年楽しみにしているバンクーバーで夏一番のイベント、ナイトマーケットが今年も開催されました！5月末から9月末までの期間限定で開催されるこのイベントは、2000年の夏に初めて行なわれ、リッチモンドの中国系コミュニティだけでなく広くリッチモンド、バンクーバー周辺からも来場者が集まる夏のイベントに成長しました。今では広大な会場に約350の売店が所狭しと並び、一日の来場者が1万5千人を超えることもあるほどで、夏を通して約30万人が訪れるといえます。

マーケット会場への入場は無料となっており、日本の祭りに夜店が出る雰囲気にならないうえ、とても懐かしいのです。マーケット内にはアジアを中心に世界から集まるフードブースが約50あり、その他アウレサリーやバッグ、サングラスやアジアの文房具、おもちゃ、DVD、怪しいブランド品(?)など様々なブースがたくさん。また、ステージではカナダをはじめ中国、日本、韓国などのエンターテインメントやライブ音楽演奏も行なわれます。

私のお気に入りのブースはやはり「食」。たこ焼き、クレープ、たいやき(韓国のものだが、日本の物とほぼ同じ)、イカ焼き(中国風)、パルティー(ジュースの中に大粒球のタピオカやナタデココなどの入った台湾生まれの飲み物)、など日本の屋台と同じようなメニューがお気に入りです。

その他にもアジア各国の、珍しい食べ物や、不思議なデザートにも毎年挑戦します。「なにコレおいしい!」と思うものや、時々「失敗!」と思うものもありますが、日本では味わえないアジア各国の食を体験できるのはとても面白いです。

先日ナイトマーケットに行った時は、終了時間間近だったため、ブースの中国人のおばさんが「スリーダラー、スリーダラー!」と\$4のイカ焼きが\$3になっていたので、早速注文。そして出来上がるのを待っている間に、おばさんが「ツーダラー、ツーダラー!」と叫び始め、なんだかちよつと損した気分にもなりましたが、そんなやり取りも楽しく感じます。



シーフードが美味しい街、スティープストン

ロッキー山脈からの流れ出た水が、大きなフレイザー川となり、海に到着する河口にスティープストンがあります。カナダでも漁獲量が最大の港といて、ゆっくりとした潮風がただよぶ漁師町です。

バンクーバー中心地から車で約40分くらいのところにあり、漁船から直接お魚が買えるので、特に週末は新鮮な魚をお値打ちに購入しようとする人々で賑わいます。

このスティープストンは、元々、日本から移民してきてこられた人達が築き上げた街で、今から約120年前、日本人がこのスティープストンにやってきて、フレイザー川を上っていく鮭の大群に驚き、次々と家族や親戚、村人たちを呼び寄せたのが日本人の最も多い漁師町、スティープストンの始まりとされています。日本から移民してきた多くの人々は、サーモン漁と、農業、鮭缶詰工場、船大工として働き、今で

はあちこちに日本に馴染みの深い名前が付けられ、公園には記念碑も建てられているほどです。

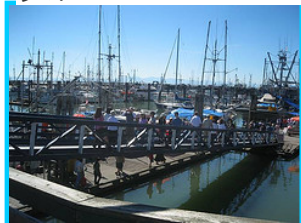
スティープストンは漁港といっても、魚屋さんだけでなく、カフェを始め、ガーデンショップ、家具屋さん、可愛い小物や、アンティークのお店も建ち並んでいます。そして Fish&Chips もオススメ!

また漁港としてだけでなく、アシカや鯨を見に行くツアーの船も出ていて、ちょっとした観光地になっています。

でもスティープストンでの私の一番の目的はシーフード! 時期によって異なりますが、イクラやイワシやヒラメはもちろんサーモンも。漁船が何隻か停泊していて直接船から買います。

今の時期は甘エビがおいしい! こっちの甘エビは日本よりもかなり大きく、値段は500gで\$4、5ほど。そして私の大好物のイクラは10月頃が旬。日本人には大好物のイクラですがカナダ人はあまり買っていないので、家に帰ってから下ごしらえをして、醤油漬けにしたイクラをたっぷりご飯の上にかけて食べるのが、美味しい! のです。

夏にバンクーバーへお越しの際は是非少し足を伸ばしてスティープストンへ!



<体験談>ケンブリッジBECコースを受講した、イシハラヨイさん

私がケンブリッジBECコース(Business English Certificate コース)を受講した理由は、日本に帰国してからの就職に役立てたかったのと、ビジネスに興味があったからです。せっかく学校に通うならESLのコースだけでなく、少し専門的なことも学びたかったのも理由の一つです。

授業内容は毎朝 Free News Paper から一つ小さいピックを見つけ、2,3文で発表。教科書やプリントを使って、ビジネス単語・ビジネスシーンでの電話応対・ビジネスレターの書き方・ケーススタディ・プレゼンテーションのノウハウなどを学びました。私にとっては日本語でもビジネスを勉強したことがなかったのに、それを英語で学ぶということではじめの2週間は本当に大変でした。そして毎週水曜日にスピーキングテスト、毎週金曜日にリーディング、リスニング、ライティングの模擬テストがあります。特に難しかったのは日本人が最も苦手とするスピーキングとリスニングでした。リスニングはイギリス英語の発音だった点が難しかったです。もういろいろな国の英語に慣れる良い機会でした。またスピーキングテストの練習をすることで、話す時は自信を持って大きな声で堂々と話すということが一番大事だと分かり、その成果もあり、堂々と話しをできるようになりました。

また日本とは全く異なる英文履歴書の書き方、英語での面接の方法も学べ、今後ワーキングホリデーとして働くために役立ちそうです。

日本ではTOEICが有名でまだケンブリッジはそれほど知られていませんが、北米やヨーロッパでは断然ケンブリッジが主流です。そしてBECコースを受講したからには試験を受けて成果を残そう! と思い、ケンブリッジのBEC試験を受講しました。そして見事合格し、ケンブリッジからの Certificate を取得しました!

BECコースを受けて、ビジネスに関する知識と語彙力が広がりました。ケンブリッジはこれから日本でどんどん主流になっていくと思います。このコースは簡単ではないし、課題がたくさんありますが、それだけやりがいもあり、今後の自分の利益となったので、SECでケンブリッジBECコースを受講してよかったです!

